

台北駐日経済文化代表処 馮代表が寄稿



馮寄台代表

人の苦しみは
我が身のこと

日本と同じく地震や台風などの災害に見舞われること多い台湾。台北駐日経済文化代表処の馮寄台代表が本紙を通じて日本国民に激励文を寄せた。

◇ 1999年の台湾中部大地震

震、2009年の台湾南部大水害で甚大な被害が出た時、日本は救援隊派遣や物資提供などで支援の手を差し伸べ、台湾の復興を応援してくれた。われわれはこれを今でも忘れていない。台湾の人々は日本の被災に、言いたいような悲しみを覚えていく。

人々は花やカードを手に日本の交流協会台北事務所を慰問に訪れ、小学生はコンビニの募金箱におこづかいを入れ、年配者が手にあるだけの現金を持って外交部に「日本

を助けたい」と申し出た。これまで集まった義援金は約110億円に上る。日本の復興にはわずかかもしれないが、これは台湾人の日本に対する心からの声援だ。

台湾人が最も好きな国は日本であり、最も信頼し、一番旅行に行きたいのも日本である。

世界から
エール

われわれは今回の震災で日本が受けた痛みを深く身にしみて感じ、馬英九總統から小学生までが「人飢己飢、人溺己溺(人の苦しみを我が身のことのように)」の精神で日本のために祈り、声援を送っている。

日本、加油(頑張れ)!